

【平成13年度第2四半期（平成13年7月～9月）の3ヶ月予報】

【海況】

平成13年度第2四半期のみとおし

1. 黒潮の流路

黒潮北縁域（佐多岬～笠利埼間）は、屋久島付近あるいは屋久島の南での変動を主にした離岸傾向で推移するでしょう。

（根拠）

黒潮北縁域の変動は、過去の変動傾向から予測を行いました。近年では夏季は屋久島付近～屋久島の南で変動する傾向があります。

2. 本県海域の水温

表面水温は、黒潮流域、県本土沿岸域及び奄美海域では“平年並み”～“高め”で推移するでしょう。

（根拠）

- (1) 黒潮流域は、長崎海洋气象台6月発表の「夏季の西日本海区の海面水温予報」及び現在の海況から予測しました。
- (2) 沿岸域は、鹿児島地方气象台6月発表の「九州南部地方3ヶ月予報」及び現在の海況から予測しました。

平成13年度第1四半期の海況概況

1. 黒潮北縁域の経過

黒潮北縁域(佐多岬～笠利埼間)は、前半は平瀬付近での変動を主にした離岸傾向で推移し、後半は屋久島付近での変動を主とした離接岸を繰り返して推移しました。

2. 本県海域の水温

『全域とも“平年並み”～“やや高め”で推移しました。』

(1) 黒潮流域 (黒潮流域の最高値)

“平年並み”～“やや高め”で経過しました。6月上旬のみ“やや低め”となりました。

(2) 薩南沿岸域 (代表点:竹島)

“平年並み”～“かなり高め”で経過しました。4月下旬のみ“やや低め”となりました。

(3) 西薩沿岸域 (代表点:甕海峡中央)

“平年並み”で経過しました。4月下旬は“やや低め”, 5月下旬は“やや高め”となりました。

(4) 奄美海域 (代表点:与路島)

“平年並み”で経過しました。4月下旬は“やや低め”, 5月上旬は“かなり低め”, 5月下旬は“かなり高め”となりました。

(5) 鹿児島湾 (代表点:谷山沖)

“平年並み”～“かなり高め”で経過しました。

<参考>

鹿児島大学水産学部 海洋資源環境教育研究セツタ - (南星丸)による鹿児島湾内の水温観測は、以下のようになりました。

(1) 鹿児島湾奥

4月25日の観測では、水深10mは16.9 となりました。

(2) 鹿児島湾口

4月26日の観測では、水深10mは19.5 となりました。